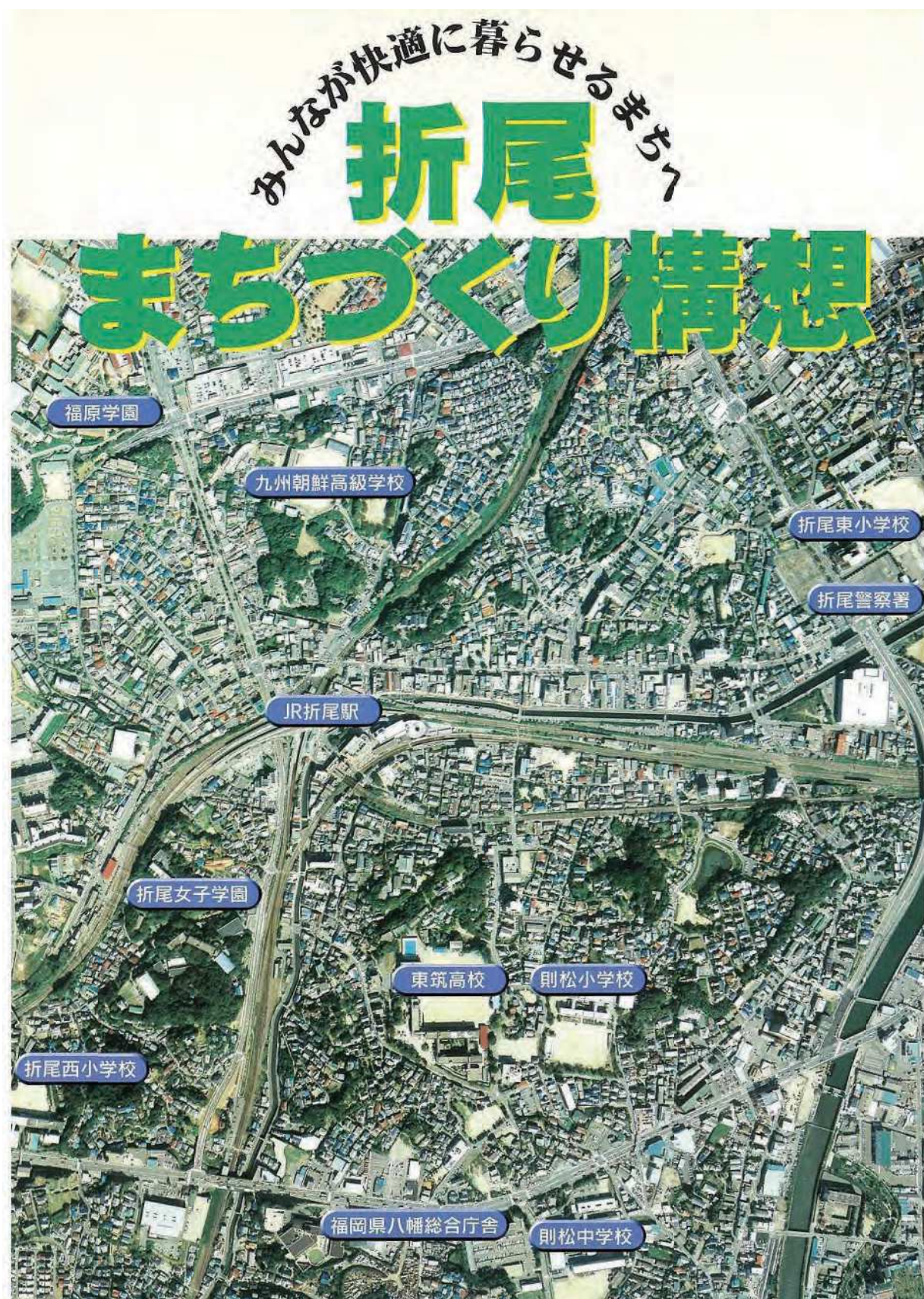
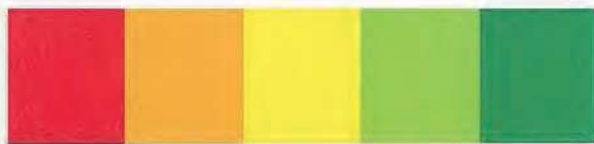


資料編

◆ 事業関係パンフレット





折尾駅前再開発

折尾駅前地区第1種市街地再開発事業



北九州市





新折尾駅舎デザイン案

折尾駅周辺 連続立体交差事業

折尾地区総合整備事業



北九州市

昭和9年頃(大正5年当時の姿)の折尾駅舎

New Orio Station

新折尾駅舎 開業

大正、昭和、平成・・・長きにわたり
地域のシンボルとして親しまれてきた折尾駅舎
令和3年1月蘇る。





令和4年2月撮影

折尾地区総合整備事業

住みやすく、魅力的で、
にぎわいのあるまちづくり



折尾駅高架下複合公共施設(折尾まちづくり記念館・八幡図書館折尾分館)
完成イメージ

北九州市



令和7年1月撮影

折尾地区総合整備事業

住みやすく、魅力的で、
にぎわいのあるまちづくり



**Kitakyushu
Action!**
動かせ、未来。北九州市

｜ あ と が き ｜

北九州市では、折尾地区を「学園都市」や「学術研究都市の玄関口」にふさわしい地域拠点として再構築するため、「住みやすく、魅力的で、にぎわいのあるまちづくり」を目標に掲げ、連続立体交差事業、街路事業、土地区画整理事業の3事業を一体的に取り組んできました。

連続立体交差事業については、平成16年度の事業認可後、事業完了までに約21年の歳月を要しました。本事業を進める中では、多くの課題にも直面しましたが、九州旅客鉄道株式会社様をはじめとする関係者の皆様のご尽力と、地域住民の皆様のご理解とご協力によって、「踏切除去による交通渋滞の解消」、「交通結節機能の向上」、「アンダーパスの平面道路化」、「高架下の土地利用」など大きな成果を挙げることができました。改めて、関係の皆様のご温かいご支援とご協力に深く感謝申し上げますとともに、事業完了を記念し、この度本事業誌を発行できましたこと、折尾総合整備事務所職員一同大変うれしく思っています。

連続立体交差事業は完了いたしました。折尾地区総合整備事業では折尾駅周辺のアクセス道路を整備する街路事業、折尾駅南側駅前広場・宅地整備等を行う土地区画整理事業は今後も継続いたします。連続立体交差事業の完了でさらに高まった折尾地区のポテンシャルを活かし、折尾地区を北九州市の西の玄関口にふさわしい地域拠点として、市内外から若者を含め新しい人が集まり、住みたくなるような魅力的なまちの実現に向けて努めてまいります。

折尾駅周辺のまちづくりにおいて、交通や土地利用などにおける街の課題を抜本的に解決できる連続立体交差事業の完了は、今後のまちの発展の礎になるものと確信しています。

JR筑豊本線・鹿児島本線（折尾駅付近）連続立体交差事業に携わっていただいたすべての方に心より感謝申し上げますとともに、皆様方のさらなるご活躍を祈念いたします。

北九州市 都市整備局 折尾総合整備事務所
所 長 太田 昭夫



北 九 州 市
九州旅客鉄道株式会社